

「東京都医療連携手帳」とは

手帳には、生活や薬に関する留意点の他、診療や検査の計画表が設けられており、患者さんや医師が、その都度記録を残します。

患者さんにとっては、「いつ」「どこで」「どんな」診療や検査を受ければよいかわかります。病院や医師にとっては、患者さんの治療経過が共有できるため、より適切で迅速な診療につながるものとなります。



肺がん



胃がん



肝がん



大腸がん



乳がん



前立腺がん



東京都PSA

